

いこま

ご自由にお取り下さい。

2021年 11月発行 Vol.21

近畿大学奈良病院 広報誌

近畿大学奈良病院は地域の皆様のために地域に根ざし、地域のクリニックと連携している病院です！

『病院』と『クリニック』の違い

病院は、複数の診療科と20以上の病床を持つ医療機関のことを指します。主に突如発症し、短い経過で重症化する可能性がある急性期疾患の診療やMRIやCTなどを使った精密な検査を行います。一方、クリニックは、病床数が19以下の有床診療所と、病床を持たない無床診療所のほか、歯科診療所があります。主に軽い病気・けがや慢性期疾患の診療が中心。慢性期疾患とは、症状は落ち着いていても引き続き治療が必要な病気・けがのことです。

病気かなと思ったら、まずは近くのクリニック(かかりつけ医)へ



近畿大学奈良病院と連携している地域のクリニックは**350以上**になります。

連携登録医マップとホームページから連携医療機関をご確認いただけます。



連携登録医マップ

当院の**2階**
正面ロビーに掲示



紹介状はメリットがいっぱい

受診がスムーズ

問診や初診にかかる時間が短縮できます。
高度医療を早期に開始できます。

費用の節約

検査費用の節約になります。
初診時選定療養費が不要になります。
(当院では5,500円)

情報の共有

かかりつけ医と当院の専門医が
情報共有し、協力して治療にあたります。

CONTENTS

- P1 近畿大学奈良病院は地域の皆様のために地域に根ざし、地域のクリニックと連携している病院です！
- P2 糖尿病について

- P3 読売新聞 奈良版に診療科長 岸谷譲医師の記事が掲載されました。
- P4 進行性家族性肝内胆汁うっ滞症が難病医療助成制度(指定難病)に追加されました！
- P5 新型コロナウイルス感染症で話題のECMO(エクモ)とは？

- P6 放射線部 新たな移動型X線装置を導入しました！
- P7 栄養だより・薬剤コラム
- P8 医学部50周年記念寄付事業について・デジタルサイネージについて・第6回フォトコンテスト投票のご案内



糖尿病について

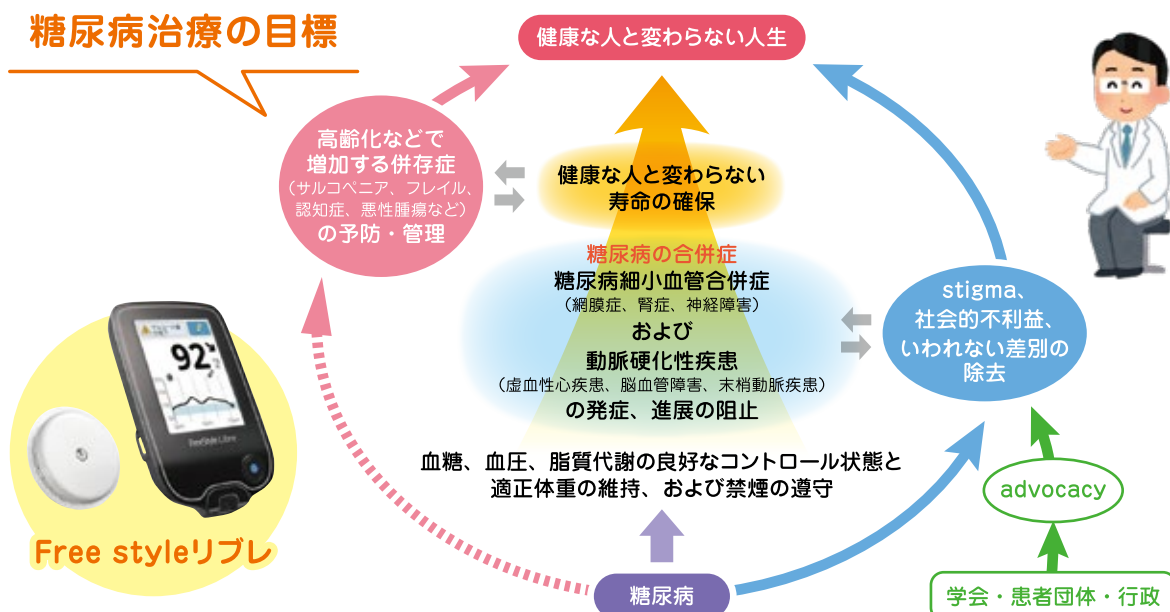
内分泌・代謝・
糖尿病内科

現在、日本の糖尿病患者さんは950万人と推定(2012年 国民健康・栄養調査)され、皆さんのご家族や親戚にも糖尿病と診断された方がいらっしゃると思います。糖尿病治療の目標は「健康な人と変わらない人生」でありそのためには高血糖から来る合併症をいかに予防するか、また既に有ればいかに進行させないかが重要です。糖尿病の合併症は細い血管が障害される「網膜症」「腎症」「神経障害」、太い血管が障害される「脳梗塞」「心筋梗塞」「閉塞性動脈硬化症」がありますが血管合併症以外にも歯周病・骨折・癌・認知症なども合併症とされてきており糖尿病の治療は高血糖の改善がもちろん重要ですがこれらの合併症、高血圧症、脂質異常症に対しても検査や治療をしていかなければなりません。

糖尿病の治療に際してここ数年、新しい治療薬が次々と登場しています。以前より低血糖や体重増加を起こしにくい内服薬、週に1回でよい内服薬や注射剤、2つの製剤を1つに配合した注射剤など、少しでも患者さんの負担が少なく安全に治療ができるよう日夜進歩しています。また、従来、針で指先を突いて血液を採取し血糖測定を行っていましたが、指先から血液を採取しなくてもおおよその血糖値がわかるという「Free styleリブレ」が登場しました。インスリンを2〜3回／日打っていないと保険適用にはなりません患者さんには好評です。糖尿病治療のツールは大変進歩してきましたが糖尿病の治療開始が遅れるほど合併症の進行を食い止めることは困難になります。検診で「糖尿病です」と言われたらできるだけ早く治療を開始して悲惨な合併症を少しでもなくしましょう。

(文責：内分泌・代謝・糖尿病内科 岸谷 譲)

糖尿病治療の目標





当院 内分泌・代謝・糖尿病内科 診療科長 岸谷 讓 医師の 記事が掲載されました。



服薬・定期検査欠かせず

日本甲状腺学会によると、県内の認定専門医は7人で、大阪府(50人)や兵庫県(38人)と比べて極めて少ない。県内の専門医の一人で、多くの患者の治療に携わる近畿大奈良病院(生駒市)内分泌・代謝・糖尿病内科の岸谷讓・診療科長(58)は「どんな症状がいつ頃から起こったかや、家族歴に注意して診断している」と話す。

甲状腺の病気は、首の腫れなどが典型的だか、抑うつ症状や下痢といった一見、甲状腺とは無関係な症状から始まることもある。このため、消化器内科や精神科など他の診療科からの紹介で、受診する患者も多いという。近大奈良病院では、甲状腺がんについては、耳鼻咽喉科・頭頸部外科が手術を行い、バセドウ病や橋本病の内科的な治療は、内分泌・代謝・糖尿病内科が担当している。

バセドウ病の場合、治療は、甲状腺ホルモンの合成や分泌を抑制する抗甲状腺薬の服用や外科手術、アイソトープ治療(放射性ヨウ素内用療法)がある。近大奈良病院は、アイソトープ治療については今後の実施に向け、準備を進めている。

薬を規則的に服用すると、1~3か月程度でホルモン値が正常になり症状もおさまるが、最短で2年程度、病態に応じた適切な量を継続して服用することになる。治療開始後2~3か月は副作用による白血球減少が生じやすく注意が必要だ。服用中止後、病気が再発することもあり、定期的な検査も欠かせない。

一方、治療を受けなかったり、薬を勝手に飲むのをやめたりした状態で、肺炎などの感染症や大けが・手術などにより強いストレスが加わると、ホルモンが過剰に作用して、複数の臓器が機能不全に陥る「甲状腺クリーゼ」を引き起こすこともあり、命に関わる危険があるという。

岸谷・診療科長は「なかなか完治したと言い切れないのが、バセドウ病の難しいところだ」と指摘する。

(聞き手・岸本 英樹)

▲実際の記事



進行性家族性肝内胆汁うっ滞症が 難病医療助成制度(指定難病)に 追加されました！



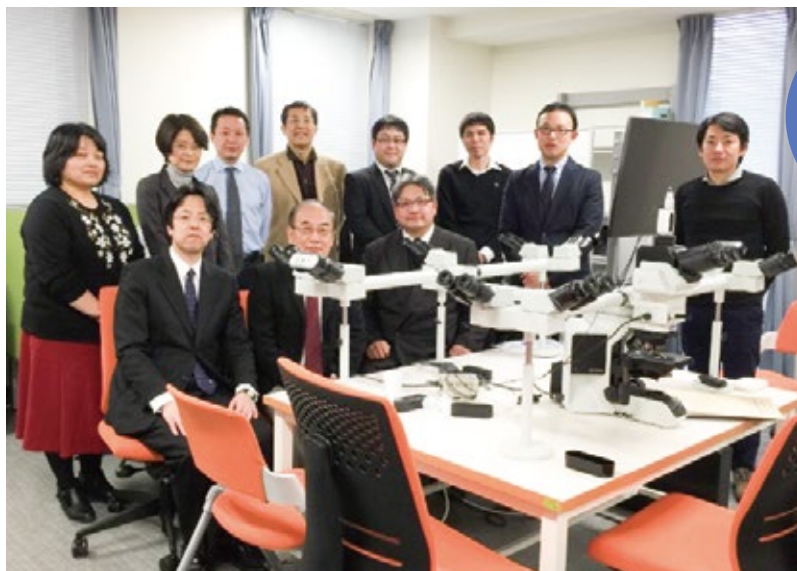
近畿大学奈良病院 小児科・准教授 近藤 宏樹



進行性家族性肝内胆汁うっ滞症(Progressive Familial Intrahepatic Cholestasis; PFIC)という超希少の遺伝性疾患があり、原因遺伝子によりPFIC1型からPFIC5型まで知られています。乳児期早期に黄疸や白色便などで気づかれ、胆汁うっ滞性肝障害から肝硬変に進行し、現時点で根本的治療法は存在しないため、これまで肝移植でしか救命できませんでした。

私たちは日本小児栄養消化器肝臓学会および厚生労働省難病研究班・仁尾班を中心に2014年にPFICの疫学調査を実施し、その後、日本医療研究開発機構(AMED)の支援を受けて、**世界初・日本発のPFIC2型に対するフェニル酪酸ナトリウムの有効性と安全性を検証する医師主導治験を実施**しております。これらの活動を評価されたのだと思いますが、**令和3年7月にPFICを難病医療助成制度(指定難病)に追加していただきました**。これにより患者ご家族のご負担が軽減されるものと思います。

これからも、難病で苦しんでいる患者さんやご家族のみなさまの為に、皆で力を合わせて取り組んで参ります。



PFIC2医師主導治験
における
病理コンセンサス会議にて
(筆者は前列中央)



新型コロナウイルス感染症で話題の

ECMO(エクモ)とは?



新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、ECMOという治療法がニュースなどで取り上げられました。ECMOとは、「ExtraCorporeal Membranous Oxygenation」の略称で和訳すると体外式膜型人工肺となります。

ECMOは人の肺の代わりに酸素と二酸化炭素の交換を行う人工肺と体内から血液を取り出し人工肺に送ってから体内に血液を戻す血液ポンプによって構成されています。

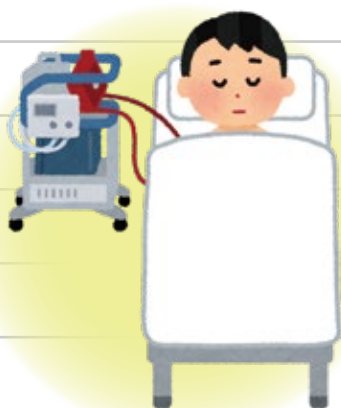
新型コロナウイルス感染症などで重度の肺炎による呼吸不全が起こった場合、人工呼吸器などで呼吸の補助を行います。しかし、人工呼吸器の補助があっても酸素が取り込めないほど肺の機能が著しく低下してしまう場合もあります。そういった場合にECMOを使うことによって肺の機能を代替し、肺を休ませてあげることで肺の機能の回復を待つことができます。ECMOとは使うことによって肺を治す装置ではなく、肺が治るまで呼吸の代わりに行う装置だと言えます。

しかし、良い面ばかりではなく悪い面もあります。ECMOを開始するには体の外に血液を出す必要があるため、足や首などの血管に太い管を入れる必要があります。また、ECMOの回路内で血液が固まらないようにする薬を使うため出血の可能性があります。

他にも様々な合併症が考えられるため安易に使用できる装置ではありません。

このようにECMOを使用するには高度な技術と豊富な経験が必要なため限られた病院で扱われています。

(臨床工学部 末野 優史)



放射線部



新たな移動型X線装置を導入しました！

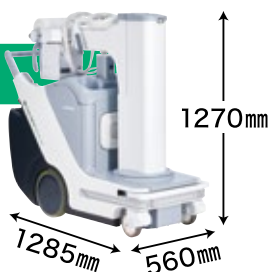
放射線部 黒川 敏昭



医療法により、X線撮影室以外での撮影は原則禁じられています。例外として病室撮影（ポータブル撮影）が認められています。病室撮影とは、放射線部内のX線撮影室での撮影が困難な場合に装置を患者さんのそばまで移動させてX線撮影を行うことです。当院の移動型X線装置は救急・ICU・病棟および手術場で稼働しています。

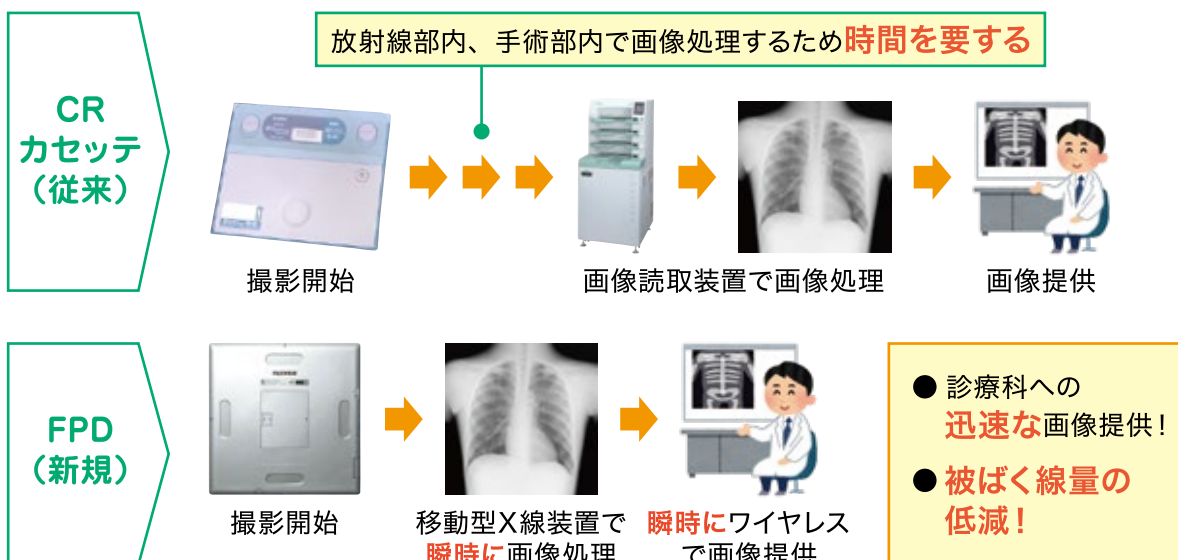
当院では、移動型X線装置はCR（コンピューテッド ラジオグラフィー）カセット内のIP（イメージングプレート）というものに記録した画像を画像読取装置で読み取り、画像化していました。今回、新たに導入された移動型X線装置はワイヤレスFPD（フラットパネルディテクタ）という方式を搭載しています。**FPDはCRカセットと違い、直接X線を読み取れるため画像化が早く、より少ないX線量（被ばく線量）で検査できます。また、FPDはCRカセットのように撮影毎に交換する必要もなく、繰り返し使用できるという特徴もあります。**

● 装置概要



装置名称	CALNEO Go PLUS (カルネオ ゴー プラス)
装置メーカー	富士フィルムメディカル(株)
重量	440kg

● 画像提供の時間短縮！および被ばく線量の低減！



栄養だより

食事の減塩を進めましょう

皆さん食塩の1日の目標量と摂取量を知っていますか？

日本人の1日の食塩摂取の目標量

男性7.5g未満 女性6.5g未満

高血圧がある方は6g未満

(日本人の食事摂取基準2020より)

目標より
3g多い

奈良県の食塩摂取量

1日平均

男性10.6g、女性9.2g

(平成28年度国民健康・栄養調査より)

食塩の取りすぎは高血圧を引き起こす原因の一つにもなります。さらに高血圧から脳卒中や心臓病などの生活習慣病のリスクを高めます。普段の食事中減塩をこころがけていきましょう！

栄養指導をご希望の方は
主治医にご相談ください



食塩を少なくするためのポイント

1 麺類の汁は飲まない

汁を
すべて飲む
塩分6g



汁を
すべて残す
塩分2.6g



-3.4g

2 醤油やソースなど調味料を後からかけない

ソースをかける
ソースの
塩分0.9g



ソースをつける
ソースの
塩分0.4g



-0.5g

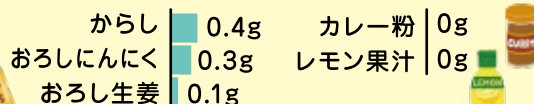
「かける」より「つける」を意識する

3 香味野菜・酸味・香辛料で味に変化を

小さじ1杯に含まれる塩分量の目安



★香辛料の使用で塩分摂取量を抑えることができます



(塩分のコツ早わかり 女子栄養大学出版より)

(文責：栄養部 藤田 彩希)

薬剤コラム

薬の基礎知識 その14

～妊婦と薬～

妊婦の方は頭痛や、つわりによる吐き気など、様々な症状に悩まされるかと思いますが。今回は、妊娠中に起こりやすい症状に対し使用される薬で、注意が必要な薬について紹介します。



① 痛み止め

頭痛や肩こりに対して一般的にロキソニン®(ロキソプロフェン)やモーラス®テープ(ケトプロフェンテープ)などのお薬が使用されます。しかし、これらのタイプの薬は妊娠後期の女性は使用してはいけないこととなっています。これらの薬は市販薬にも含まれているため注意が必要です。妊娠中の痛み止めにはカロナール®(アセトアミノフェン)が比較的安全に使用可能であるとされています。



② 吐き気止め

一般に吐き気の治療薬としてはナウゼリン®(ドンペリドン)が頻繁に使用されます。しかし、ナウゼリン®は妊婦又は妊娠している可能性のある婦人は使用できません。



③ 便秘薬

大腸刺激性の便秘薬であるプルゼニド®(センノシド)は妊婦又は妊娠している可能性のある婦人は使用できません。妊娠中の便秘には非刺激性下剤である酸化マグネシウムが使用できます。



これらのお薬を常備薬としてお持ちではないでしょうか。これらの薬以外にも妊婦さんに使用できない薬はたくさんあります。妊娠している方や希望される方は自身で判断して薬を服用せず、受診することをお勧めします。(文責：薬剤部 高田 康彦)

学校法人近畿大学 創立100周年記念 医学部50周年記念寄付事業について(お願い事項)

皆さん、学校法人近畿大学が2025年(令和7年)に創立100周年を迎え、医学部が50周年を迎えるってご存知でしたか?もうそんなに?まだそんだけ?って思った人も沢山いると思います。やはり、西日本最大級の総合大学だけあって、学生数および卒業生数もスケールが他大学と比べても全然比較にならないですよ。歴史も風格もありますし、ここ最近、知名度やブランド力の上昇などをはじめ、なんといっても、元気のある大学ですよ。(笑)

※実は、何を隠そう私も卒業生なんです。(´▽`)

今後より一層、更に発展し続けていける為、近畿大学への絶大なるご支援を賜り、皆様方からのご厚意を募らせていただきますので、ご協力くださいますよう宜しくお願い致します。

(文責：経営管理部総務課 川田 和延)

創立100周年
記念サイトは
こちら!



デジタルサイネージ(電子掲示板)について

デジタルサイネージって聞かれた事がありますか?ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディアを総称して呼んでいます。簡単に言うと「電子掲示板」の事です。

2階の正面玄関に足を踏み入ると、向って左側の壁側に様々な映像が映し出されているのに気が付かれています。具体的には当院の「施設基準届出一覧」・「臨時休診・代診のお知らせ」をはじめ、当院が実施している治療方法の説明や、院内施設の売店(ローソン)、外来レストラン(淀川食品株式会社)、天然酵母造りパンの店(聖庵)(個人的にも是非お勧めします。未だ利用されていない方は購入し、美味しいパンの味を堪能してください。笑)の紹介までも幅広く、患者様目線でお伝えしたい様々な情報を常に発信し続けておりますので、足を止めてじっくりと内容をご確認頂ければと思います。

そうすれば、きっと、当院の事をより一層深く知って頂けると思いますし、当院の良さを知って頂ける事、間違いなしですよ!!



(文責：経営管理部総務課 川田 和延)

第6回

フォトコンテスト PHOTO CONTEST

たくさんのご応募ありがとうございました!
皆さまの投票お待ちしております。

投票
受付中!!

1.投票期間

令和3年 11月30日(火) まで

2.投票資格

一般の方および当院教職員



▲第5回フォトコンテスト
入賞作品 「お仕事中」



近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

近畿大学奈良病院

〒630-0293 奈良県生駒市乙田町1248-1 TEL 0743-77-0880
E-mail: infonara@med.kindai.ac.jp https://www.kindainara.com

発行日 令和3年11月
発行場所 近畿大学奈良病院
編集 広報委員会

